

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	機能的で魅力ある都市空間を形成する	取組の 基本方向	「機能的で魅力のある都市空間を形成する」ため、調和のとれたまちをつくるための「地域特性に応じた土地利用の推進」、各地域の機能・役割の明確化と機能連携・補完のための「都市機能の適正配置と機能連携の推進」、機能性が高くコンパクトなまちをつくるための「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」、都市の快適性の向上のための「緑と憩いの拠点づくりの推進」、良好な景観形成のための「都市景観の保全・創出」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	市内のそれぞれの地域が、その特性に応じた個性や魅力、都市機能を備え、コンパクトで調和のとれた都市空間が形成されています。
--------------	--------------------------------	----------------	-------------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	緑と憩いの拠点づくりの推進						④ 施策の達成状況	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)	
②施策目標	安全で良好な居住環境を有した地域の特性を生かした魅力ある拠点が形成されています。						施策指標(単位) 指標① (総合計画に基づく指標) 市民1人当たりの公園面積 (㎡/人) 指標② 既設公園のバリアフリー化公園整備数(累計) 指標③ 指標④ (特記事項)	-----	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	-----	
③施策を取巻く環境	国・県等の動向	平成20年度に、国において、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」が改定され、公園遊具の適切な維持管理のための新たな基準が示された。平成22年度に新たな補助制度「社会資本整備総合交付金」が創設され、面積や事業費など、従来の補助採択基準以下の公園整備事業等についても採択可能となった。	国において、公園施設の安全性確保や適正な維持管理、ライフサイクルコスト縮減の観点から「公園施設長寿命化計画」の策定が求められ、国庫補助の採択条件の一つとなったが、平成26年度以降の公園遊具改築事業等への補助制度の内容が未確定である。また、東日本大震災による社会経済状況の悪化の影響等、国等の税収の減や予算不足などから、今後、補助事業の採択が従来より困難となってくることが懸念される。	外部意見 その他	平成21年3月の市議会にて、全国的に公園遊具に関する事故が多くなっていることから、公園遊具の安全点検および国の支援事業の補助メニューを活用した老朽化遊具等の改修を推進するべきとの指摘があった。平成22年12月の市議会にて、公園の健康遊具を活用した健康増進の活動を広めていくべきとの意見があった。愛護会について、複数の愛護会長から「会員の高齢化などから、除草などの愛護会活動が困難になってきている」という意見が寄せられている。	-----		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	-----	101.2%	
						10.29		10.44	10.48	10.59				-----	58.1%
						-----		7	15	20	25	31	-----	#DIV/0!	

⑤ 市民意識調査結果	市民の施策満足度	34.2%	市民の施策重要度	68.2%	⑥ 施策の評価	達成度(単年度目標)	達成している(90%以上)	● 概ね達成(70%~90%未満)	達成していない(70%未満)	説明	区画整理事業や宅地開発などに伴う公園整備により、市民1人当たりの公園面積は増加しているが、利用促進の観点から八幡山公園における整備事業の期間短縮を目的に、公園施設改修に係る補助事業の22年度、23年度整備計画の組替えを行ったため、公園のバリアフリー化整備については、スケジュールが変更となり単年度目標を下回った。	⑦ 現状分析と課題の抽出 ③⑤⑥を踏まえた分析	成果が見られる点	区画整理事業や宅地開発などに伴う公園整備により、市民1人当たりの公園面積の目標を達成することができた。また、バリアフリー化した公園数についても、計画的な取り組みにより、平成24年度の目標を達成できる見込みである。
						必要性・緊急性(住民・社会ニーズ)	増加している	● 横ばい	減少している	説明	市民意識調査では、市民満足度、施策重要度とも若干向上しており一定の水準にあるが、健康遊具や公園のバリアフリー化などをはじめ、公園のニーズは多様化しており、住民・社会ニーズは高い。		改善の必要な点	市民1人当たりの公園面積については、平成24年度の目標を達成することができたが、新規公園が、区画整理事業や宅地開発事業地に集中するなど、公園の配置については課題がある。「緑と憩いの拠点」である公園や緑地には、憩いの場やコミュニティ形成の場、防災拠点など様々な役割があり、利用者のニーズも変化してきていることから、これらに的確に対応できる公園整備や、市民協働による管理運営のさらなる推進が必要である。また、公園整備や維持管理に係る経費の縮減も図っていく必要がある。
						適切性(適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	● 不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	拠点づくりに必要な公園の整備、改修、管理運営に係る事業を実施しており、各事務事業とも概ね目標を達成している。			
						有効性(政策目標への効果)	● 十分である	● やや不十分である	不十分である	説明	市民ニーズ等を反映した公園整備や既存公園のリニューアル、市民協働による管理運営の促進を図ることは、機能的で魅力ある都市空間を形成するうえで有効であり、施策の達成率も向上している。			

3 今後の取組方針

⑧ 取組の考え方	総論	魅力ある「緑と憩いの拠点づくり」のため、住民や地域の意見を十分に考慮しながら各事務事業に取り組み、ニーズにあった新規公園整備・既存公園のリニューアルを実施していくとともに、市民協働による公園の管理運営のさらなる推進を図っていく。	➡	⑨ 政策評価 会議意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズにあった新規公園整備・既存公園のリニューアルを実施するため、住民や、地域の意見を十分に考慮しながら、「緑と憩いの拠点づくり」のため市民協働による公園の管理運営に取り組むことにより、市民満足度の向上を図る。</li> <li>「公園施設長寿命化計画」に基づく「公園施設改修事業実施計画」を策定し、施設のライフサイクルコスト縮減に努め、様々なニーズに応じた健康遊具設置や、バリアフリー化、防災拠点としての植栽・施設改修などの公園リニューアル整備を効率的に実施していく。</li> <li>バランスのとれた公園配置に係る「指針」の見直しを図るとともに、公園の利活用を促進する取組を、愛護会の役割整理などと併せて検討していく。</li> </ul>
	重点事業	計画的な整備・維持修繕工事実施のため、「公園施設長寿命化計画」に基づく「公園施設改修事業実施計画」を策定し、施設のライフサイクルコスト縮減に努めていくとともに、健康遊具をはじめとする様々なニーズに応じた遊具設置や、バリアフリー化、防災拠点としての植栽・施設改修などの公園リニューアル整備を効率的に実施していく。			
	見直し事業	バランスのとれた公園配置に係る「指針」の見直しを図るとともに、公園の利活用を促進する取組を、愛護会の役割整理などと併せて検討していく。			

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H21	H22	H21	H22	重点度(A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	身近な生活圏の公園整備 担当課 公園管理課	市民	-	街区・近隣公園の新規整備数(箇所)	2	4	41,500	348,424	A	継続	気軽に緑とふれあえる場やコミュニティ形成の場として、市民のニーズ等や、公園の適正配置に配慮し、国庫補助金等を確保しながら機能的で魅力ある公園づくりに取り組んでいく。
					2	4					
2	公園のバリアフリー化 担当課 公園管理課	公園利用者	H13	既設公園のバリアフリー化公園数(箇所)	8	5	31,462	4,675	A	継続	高齢者や障がい者をはじめとした市民誰もが利用しやすく、安心して親しめる場とするため、公園のバリアフリー化を行っていく。事業実施にあたっては、国庫補助金等を確保しながら、他の整備・改修事業なども考慮し計画的に進めていく。
					8	3					

様式 2

3	「もったいないの森 長岡」植樹事業		市民	H20	「もったいないの森 長岡」植樹祭参加人数(人)	300	150	5,188	4,829	B	継続	植樹事業をとおして緑に触れ合う機会を市民に提供することで、市民の自然や森に対する意識の一層の啓発・向上が期待できることから、「樹林地の再生」のコンセプトのもと、「とちぎの元気な森づくり推進市町村交付金」等の特定財源の導入に努めながら、引き続き「市民協働による森づくり」である「もったいないの森長岡」植樹祭を継続して開催していく。
	担当課	緑のまちづくり課				300	210					
4	宇都宮市公園愛護会補助金		地域団体	S5 1	公園愛護会設置数(箇所)	362	361	4,587	4,589	B	継続	新規に設立される愛護会もある一方、愛護会構成員の高齢化により、除草等の愛護会活動が困難になり解散を申し出るケースも増加傾向にあることから、より一層、愛護会制度の周知や愛護会への支援を図るとともに、能力や意欲に合わせた活動メニューなど新たな仕組みについても検討していく。
	担当課	公園管理課				351	356					
5	宇都宮城址公園整備事業		市民	H12	多くの市民が参加するイベントの開催数(件)	24	24	328	0	B	継続	歴史的な重要性和立地条件を活かし、市民の心のよりどころとなる本市の個性やシンボルづくりのため、公園の利用・活用を促進し整備の機運醸成を図るとともに、財源の確保などについて検討を進める。
	担当課	公園管理課				23	24					
6	八幡山利用促進事業		市民	H14	競輪場との一体利用促進事業計画における実施施策数(件)	1	2	196,249	80,462	C	終了	「八幡山公園における競輪場との一体利用促進事業計画」に基づき、競輪場の再整備に併せ実施する公園整備が完了した。
	担当課	公園管理課				4	3					
施 策 事 業 費 合 計								279,314	442,979			